

製品カテゴリールール (PCR)
(認定 PCR 番号 : PA-2123000-XX-YY)

対象製品 : 窓・サッシ
Product Category Rule for“Windows”
原案

意見公募期間 : 2018 年 2 月 19 日 (月) ~2018 年 3 月 2 日 (金) 16 : 00

本文書は、一般社団法人産業環境管理協会が運営管理する「JEMAI 環境ラベルプログラム」において、「窓・サッシ」を対象としたエコリーフ/CFP の算定・宣言のルールについて定めたものである。

当該製品・サービスの算定・宣言を行おうとする事業者等は、本文書および「算定・宣言に関する要求事項」に基づいて、算定・宣言を行う。

認定 PCR の有効期限は、最新版 PCR の認定日または更新日より 5 年間とする。

この PCR に記載されている内容は、JEMAI 環境ラベルプログラムにおいて、関係事業者等を交えた議論の結果として、PCR 改正の手続きを経ることで適宜変更および修正することが可能である。

PCR レビュー	認定日	●年●月●日	
	PCR レビューパネル	委員長 氏名 :	
		所属 :	
準拠する規格	■ ISO14040 : 2006	■ ISO/TS14027 : 2017	
	■ ISO14044 : 2006	■ ISO21930 : 2007	
	■ ISO14025 : 2008		
	■ ISO/TS14067 : 2013		

【履歴】

文書番号	公表日	内容
PA-2123000-XX-YY	●年●月●日	制定

【PCR-WG メンバー企業】（五十音順）

- ・株式会社エティーサ研究所
- ・塩ビ工業・環境協会
- ・三協立山株式会社
- ・一般社団法人 日本サッシ協会
- ・不二サッシ株式会社
- ・株式会社 LIXIL
- ・YKKAP 株式会社

No.	項目	要求事項
1	適用範囲	
1-1	目的と適用範囲	この PCR の目的は、JEMAI 環境ラベルプログラムにおいて、「窓・サッシ」を対象としたエコリーフ算定および宣言に関する規則、要求事項および指示事項を特定することである。 対象製品の関係法令に抵触する内容については、法令順書を優先する。 本 PCR の地理的範囲は日本国内とする。
2	対象とする製品種別の定義	
2-1	製品種別	この PCR で対象とする「窓・サッシ」は、主として建築物の外壁の窓として使用するスイング及びスライディングのサッシとする。
2-2	機能	建築物の開口部材の、夏季に屋外の熱の侵入を防ぐ遮熱性、冬季に屋内の熱の流失を防ぐ断熱性（JIS A2102「窓及びドアの断熱性能」で定義される機能）
2-3	算定単位 (機能単位)	「1 窓あたり」とする。 ・ビル用窓としてアルミ形材（中間財）を供給する場合は「重量（kg）あたり」とする。
2-4	対象とする構成要素	次の要素を含むものとする。 ・窓（サッシ、ガラス及び付属品（取り付けビス等）） ・ビル用窓としてアルミ形材（中間財）を供給する場合はガラスを含めない。 ・各ライフサイクル段階で使用される輸送用資材、および副資材
3	引用した規格および PCR	
3-1	引用規格 および引用 PCR	現段階（2018 年 1 月）で引用する PCR はない。
4	用語および定義	
4-1	用語および定義	想定使用期間（RSL：reference service life）： 30 年間
5	製品システム（データの収集範囲）	
5-1	製品システム (データの収集範囲)	次のライフサイクル段階を対象とする。 ・製造段階 ・建設段階 ・使用段階 ・廃棄リサイクル段階 中間財の場合は、製造段階のみを対象とする。
5-2	カットオフ基準およびカットオフ対象	【カットオフ基準】 以下の基準に従ってカットオフを行ってもよい。 ・再生可能エネルギーの 1% まで ・再生不可能な 1 次エネルギー使用量の 1% まで ・エネルギー使用量、質量および環境影響の最大 5% まで ただし、有害性および毒性を有する物質はカットオフしてはならない。 【カットオフ対象とする段階、プロセスおよびフロー】 ・製品を生産する設備などの資本財の使用時以外の負荷 ・生産工場などの建設に係る負荷 ・投入物を外部から調達する際に使用される容器包装や輸送資材の負荷 ・副資材のうち、マスク、軍手などの汎用的なものの負荷

		・事務部門や研究部門などの間接部門にかかる負荷
5-3	ライフサイクルフロー図	附属書A（規定）にライフサイクルフロー図を示す。
6	全段階に共通して適用するエコリーフ算定方法	
6-1	一次データの収集範囲の設定基準	一次データの収集範囲は(7-2)、(8-2)、(9-2)、(10-2)および(11-2)に記載する。 なお、一次データの収集範囲外のデータ収集項目についても、必要に応じて一次データを収集してよい。
6-2	一次データの品質	特に規定しない。
6-3	一次データの収集方法	一次データの収集方法は、以下の2通りのどちらかとする。 ①プロセスの実施に必要な機器及び設備の稼働単位（単位活動時間、1ロットなど）ごとに入出力項目の投入量や排出量を把握し積上げる方法 ②事業者単位の一定期間の実績値を製品間で配分する方法
6-4	二次データの品質	【時間に関する範囲の基準】 ・生産者固有の二次データを使用する場合、時間に関する範囲は直近の5年以内の任意の1年間、または同等の期間とする。 ・その他の二次データの期間に関する範囲は10年以内とする。
6-5	二次データの収集方法	特に規定しない。
6-6	配分	【配分基準に関する規定】 重量比を基本とする。 【配分の回避に関する規定】 特に規定しない。 【配分の対象に関する規定】 特に規定しない。
6-7	シナリオ	【輸送に関するデータ収集】 附属書B（規定）のシナリオを使用する。 【廃棄物等の取扱い】 処理方法について、一次データの収集が困難な場合、および各段階でシナリオを設定していない場合、紙類やプラスチックのように焼却できるものはすべて焼却処理とし、金属のように焼却できないものはすべて埋立処理として算定する。
6-8	その他	【生物由来炭素の計上方法について】 気候変動の評価を行う際は、バイオマス由来のCO ₂ は、材料、製品として使用している際は固定されているものとし、-1 kg-CO ₂ が吸収されるものとして計上し、廃棄・リサイクル時に燃焼される際は、+1 kg-CO ₂ が排出されるものとして取り扱うこととする。 【シリーズ製品の取り扱い】 名称、材質、開閉方式が同じであって、サイズ違いで展開している製品を「シリーズ製品」として算定することができる。算定方法は附属書D（規定）に規定される関係式に従わなければならない。
7	製造段階に適用する項目	
7-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	【A1】 原材料の調達に係るプロセス（投入物の生産（バイオマスの場合は育成等）を含む） 【A2】 原材料の工場までの輸送に係るプロセス 【A3】 製品の製造に係るプロセス
7-2	データ収集項目	次表に示すデータ項目を収集する。 原単位は原則IDEAを用いるが、塩化ビニル樹脂はJLCA連結データを用いてもよい。 その場合、使用した原単位を宣言に記載する。

【A1】 原材料の調達に係るプロセス

活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名
形材原材料の投入量 「アルミ地金」 「アルミ再生地金」 「PVC」 「添加剤（充填材、安定剤など）」	一次	「アルミニウム一次地金」 「アルミニウム再生地金」 「塩化ビニル樹脂」 「メタクリル酸」「石灰石」「亜鉛鉱石、精鉱」など
ガラスの投入量 「板ガラス」（複層ガラス内製時） 「複層ガラス」（外部調達時）	一次	「板ガラス」 「その他の板ガラス」
部品原材料の投入量 「鉄系部品」 「アルミ系部品」 「樹脂系部品」など	一次	「普通鋼冷延鋼板」 「アルミニウム・合金ダイカスト」 「塩化ビニル樹脂」など
副資材の投入量 「硫酸」など	一次	「硫酸, 98%」など
包装資材の投入量 「箱」 「シート」など	一次	「段ボール箱」 「梱包資材, LDPE」など

【A2】 原材料の工場までの輸送に係るプロセス

活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名
「原材料」の輸送量	一次 または シナリオ	「トラック輸送, 10 トン車」など

【A3】 製品の製造に係るプロセス（サイト間輸送を含む）

活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名
製品生産プロセスへの投入量 「工業用水」 「電力」 「重油」 「LNG」 「都市ガス」 「LPG」など	一次	「工業用水道」 「電力」 「A 重油の燃焼エネルギー」 「LNG の燃焼エネルギー」 「都市ガス 13A の燃焼エネルギー」 「液化石油ガス（LPG）の燃焼エネルギー」など
サイト間輸送量 「アルミ形材」 「樹脂形材」など	一次 または シナリオ	「トラック輸送, 2 トン車」 「トラック輸送, 2 トン車」など
廃棄物の処理施設への輸送量 「廃棄物輸送」など	一次 または シナリオ	「トラック輸送, 2 トン車」など
「排水」の量	一次	「工業排水処理」
工場廃棄物の排出量 「廃プラ」 「ガラスくず」など	一次	「産廃処理, 廃プラスチック類」 「産廃処理, ガラス・陶磁器くず」な

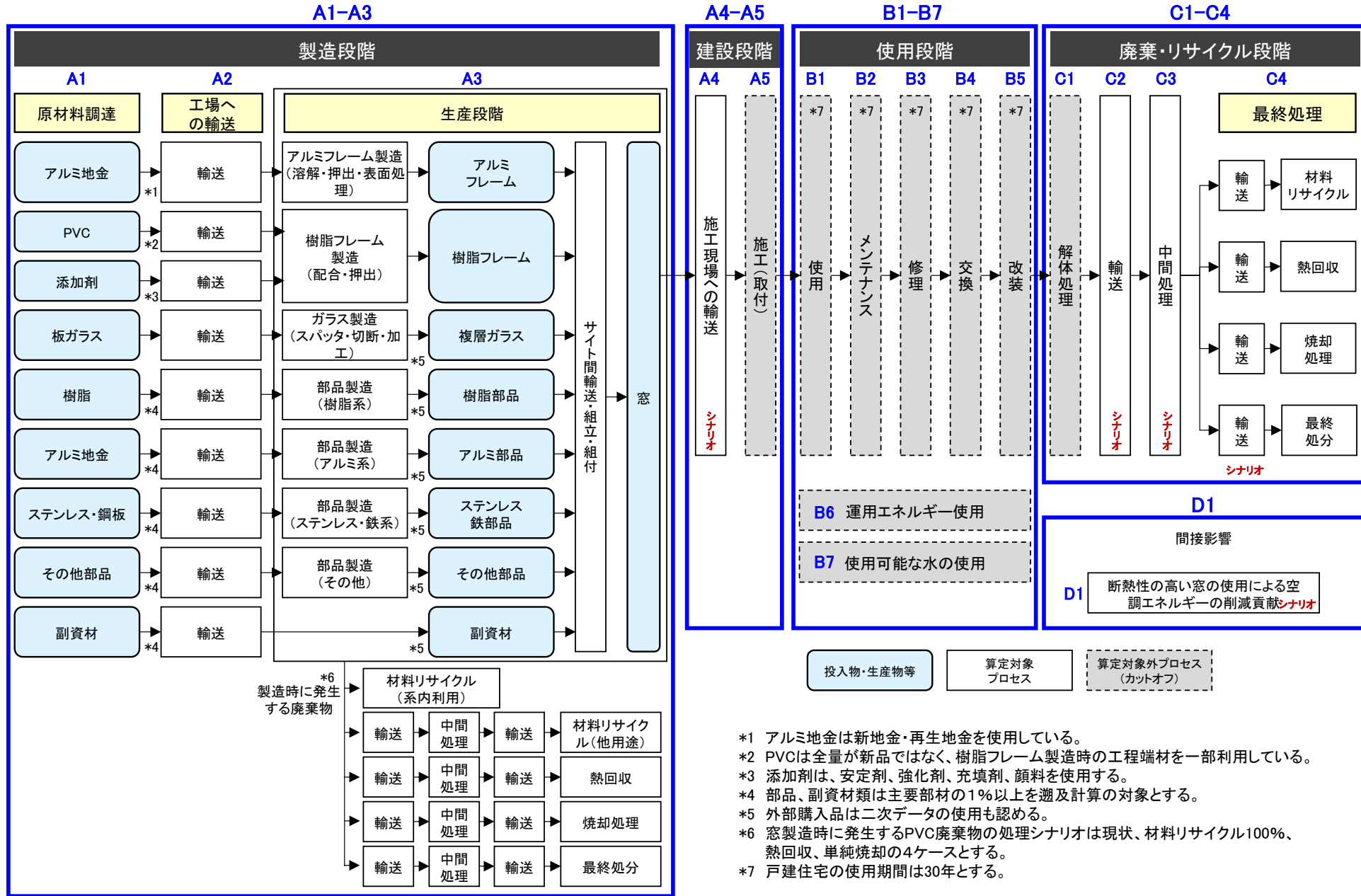
				ど						
		<p>【配分のために収集する一次データ収集項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品の生産量（重量もしくはセット数） ・アルミ形材、樹脂形材、複層ガラス、部品の生産量（重量） 								
7-3	一次データの収集方法および収集条件	6-3に準ずる。								
7-4	シナリオ	6-7に準ずる。								
7-5	その他	特に規定しない。								
8	建設段階に適用する項目									
8-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	<p>【A4】 施工現場への輸送に係るプロセス</p> <p>【A5】 施工に係るプロセスはライフサイクル全体への寄与が低いため対象外とする。</p>								
8-2	データ収集項目	<p>次表に示すデータ項目を収集する。</p> <p>【A4】 施工現場への輸送に係るプロセス</p> <table border="1" data-bbox="422 824 1481 1025"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「窓・サッシ」の輸送量</td> <td>一次 または シナリオ</td> <td>「トラック輸送, 10 トン車」</td> </tr> </tbody> </table>			活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「窓・サッシ」の輸送量	一次 または シナリオ	「トラック輸送, 10 トン車」
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名								
「窓・サッシ」の輸送量	一次 または シナリオ	「トラック輸送, 10 トン車」								
8-3	一次データの収集方法および収集条件	6-3に準ずる。								
8-4	シナリオ	6-7に準ずる。								
8-5	その他	特に規定しない。								
9	使用段階に適用する項目									
9-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	<p>以下のプロセスは、存在しないプロセスもしくはライフサイクル全体への寄与が低いため対象外とする。</p> <p>【B1】 使用に係るプロセス</p> <p>【B2】 メンテナンスに係るプロセス（必要な資材の生産、輸送、廃棄を含む）</p> <p>【B3】 修繕に係るプロセス（必要な資材の生産と輸送、廃棄を含む）</p> <p>【B4】 製品の交換に係るプロセス（必要な資材の生産、輸送、廃棄を含む）</p> <p>【B5】 改装に係るプロセス（必要な資材の生産、輸送、廃棄を含む）</p> <p>【B6】 製品使用時のエネルギーの使用</p> <p>【B7】 製品使用時の水の使用</p>								
9-2	データ収集項目	対象外								
9-3	一次データの収集方法および収集条件	対象外								
9-4	シナリオ	対象外								
9-5	その他	特に規定しない。								
10	廃棄・リサイクル段階に適用する項目									
10-1	データ収集範囲に含まれるプロセス	<p>【C2】 使用済み製品の輸送に係るプロセス</p> <p>【C3】 使用済み製品の中間処理プロセス</p> <p>【C4】 廃棄物処理プロセス</p>								

		【C1】 撤去・解体に係るプロセスはライフサイクル全体への寄与が低いいため対象外とする。																		
10-2	データ収集項目	<p>次表に示すデータ項目を収集する。</p> <p>【C2】 使用済み製品の輸送に係るプロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「使用済み製品」処理施設への輸送量</td> <td>一次またはシナリオ</td> <td>「トラック輸送, 2トン車」</td> </tr> </tbody> </table> <p>【C3】 使用済み製品の中間処理プロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用済み製品選別処理量 「廃棄量」</td> <td>シナリオ</td> <td>「廃棄・建築物混合廃棄物破碎選別サービス」</td> </tr> </tbody> </table> <p>【C4】 廃棄物処理プロセス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動量の項目名</th> <th>活動量の区分</th> <th>活動量に乗じる原単位の項目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用済み製品処理量 「埋立量」</td> <td>シナリオ</td> <td>「埋立処理, 産業廃棄物」</td> </tr> </tbody> </table>	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	「使用済み製品」処理施設への輸送量	一次またはシナリオ	「トラック輸送, 2トン車」	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	使用済み製品選別処理量 「廃棄量」	シナリオ	「廃棄・建築物混合廃棄物破碎選別サービス」	活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名	使用済み製品処理量 「埋立量」	シナリオ	「埋立処理, 産業廃棄物」
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																		
「使用済み製品」処理施設への輸送量	一次またはシナリオ	「トラック輸送, 2トン車」																		
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																		
使用済み製品選別処理量 「廃棄量」	シナリオ	「廃棄・建築物混合廃棄物破碎選別サービス」																		
活動量の項目名	活動量の区分	活動量に乗じる原単位の項目名																		
使用済み製品処理量 「埋立量」	シナリオ	「埋立処理, 産業廃棄物」																		
10-3	一次データの収集方法および収集条件	6-3 に準ずる。																		
10-4	シナリオ	<p>【廃棄物等の処理方法に関する規定】</p> <p>廃棄物等の処理方法およびその割合については、次のシナリオを使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルミ廃棄物：74%リサイクル，26%埋立 ※1 ・樹脂廃棄物：20%リサイクル，80%埋立 ※2 ・ガラス廃棄物：100%埋立 ※3 <p>※1：「3Rシステム化可能性調査事業—アルミニウム展伸材スクラップから展伸材へのリサイクルの可能性調査事業—」（平成19年3月）社団法人 日本アルミニウム協会，p.19</p> <p>※2：「樹脂サッシの廃棄状況の実態やリサイクルのために必要な技術や仕組み等に関する調査」（平成22年3月）経済産業省北海道経済産業局，p.21</p> <p>※3：「板ガラスリサイクルシステムに関する調査研究」（平成19年3月）財団法人 機械システム振興協会，p.10</p>																		
10-5	その他	特に規定しない。																		
11	LCI 計算、インパクト評価に関する項目（エコリーフによる宣言にのみ適用する項目）																			
11-1	LCI 計算の考え方	特に規定しない。																		
11-2	インパクトカテゴリおよび特性化係数の追加	特に規定しない。																		
12	宣言方法																			
12-1	登録情報	特に規定しない。																		
12-2	製品の仕様	<p>【必須記載事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品質量 																		

		・性能、開閉方式、材質（アルミ、樹脂）、ガラス種類など																											
12-3	LCAデータの公開内容	<p>【エコリーフ宣言 環境影響領域の開示に関する規定】</p> <p>以下の環境影響領域について、情報モジュールごとに結果を記載する。ただし、モジュール【A1】【A2】【A3】は合算表示してもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動 IPCC 2013 GWP 100a ・オゾン層破壊 ・富栄養化 ・酸性化 ・光化学オキシダント <p>【エコリーフ宣言 LCI 関連情報の開示に関する規定】</p> <p>以下の内容について、情報モジュールごとに結果を記載する。ただし、モジュール【A1】【A2】【A3】は合算表示してもよい。</p> <p>1.エネルギーおよび資源に関する情報</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>再生可能エネルギー</td> <td>MJ</td> <td>附属書 C.1 (規定) 参照</td> </tr> <tr> <td>非再生可能エネルギー</td> <td>MJ</td> <td>附属書 C.2 (規定) 参照</td> </tr> <tr> <td>再生可能資源</td> <td>kg</td> <td>附属書 C.3 (規定) 参照</td> </tr> <tr> <td>非再生可能資源</td> <td>kg</td> <td>附属書 C.4 (規定) 参照</td> </tr> <tr> <td>淡水の消費</td> <td>m³</td> <td>附属書 C.5 (規定) 参照</td> </tr> </tbody> </table> <p>2.廃棄物に関する情報</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目名</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有害廃棄物</td> <td>kg</td> <td>特別管理産業廃棄物の重量を合算で表示する。</td> </tr> <tr> <td>無害廃棄物</td> <td>kg</td> <td>廃棄物総重量から有害廃棄物を除いた重量を記載する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【エコリーフ宣言 素材・構成物質の表記に関する規定】</p> <p>アルミ、PVC、添加剤、ガラス、その他の樹脂、副資材、その他 %表示を必須とし、任意で重量 (kg) 表示を追加してもよい。</p>	項目名	単位	備考	再生可能エネルギー	MJ	附属書 C.1 (規定) 参照	非再生可能エネルギー	MJ	附属書 C.2 (規定) 参照	再生可能資源	kg	附属書 C.3 (規定) 参照	非再生可能資源	kg	附属書 C.4 (規定) 参照	淡水の消費	m ³	附属書 C.5 (規定) 参照	項目名	単位	備考	有害廃棄物	kg	特別管理産業廃棄物の重量を合算で表示する。	無害廃棄物	kg	廃棄物総重量から有害廃棄物を除いた重量を記載する。
項目名	単位	備考																											
再生可能エネルギー	MJ	附属書 C.1 (規定) 参照																											
非再生可能エネルギー	MJ	附属書 C.2 (規定) 参照																											
再生可能資源	kg	附属書 C.3 (規定) 参照																											
非再生可能資源	kg	附属書 C.4 (規定) 参照																											
淡水の消費	m ³	附属書 C.5 (規定) 参照																											
項目名	単位	備考																											
有害廃棄物	kg	特別管理産業廃棄物の重量を合算で表示する。																											
無害廃棄物	kg	廃棄物総重量から有害廃棄物を除いた重量を記載する。																											
12-4	追加情報	<p>【必須表示内容の規定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用・維持管理段階の算定方法（シナリオ）、想定使用期間を記載する。 ・輸送シナリオの概要を記載する。 <p>【D1：断熱性の高い窓の使用による空調エネルギーの削減貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高断熱窓の使用による空調エネルギーの削減効果を表示してもよい（付属書 E）。 																											
12-5	その他エコデザイン関連情報	<p>【必須記載内容に関する規定】</p> <p>次の項目は表示をしなければならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害化学物質情報、人間健康、毒性リスクに関する情報 <p>【推奨記載内容に関する規定】</p> <p>以下の事項を記載することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコデザインシステム情報（ISO14001 認定工場等） ・ユーザーおよび各事業者向けの製品情報 ・環境に配慮した調達情報（FSC、PEFC 認証、エコマーク認定製品の使用等） 																											

12-7	その他	【製品間比較に関する規定】 ・ 中間財の場合、製品間比較を行ってはならない。
------	-----	--

附属書A ライフサイクルフロー図 (規定)



- *1 アルミ地金は新地金・再生地金を使用している。
- *2 PVCは全量が新品ではなく、樹脂フレーム製造時の工程端材を一部利用している。
- *3 添加剤は、安定剤、強化剤、充填剤、顔料を使用する。
- *4 部品、副資材類は主要部材の1%以上を遡及計算の対象とする。
- *5 外部購入品は二次データの使用も認める。
- *6 窓製造時に発生するPVC廃棄物の処理シナリオは現状、材料リサイクル100%、熱回収、単純焼却の4ケースとする。
- *7 戸建住宅の使用期間は30年とする。

附属書B：輸送シナリオ（規定）

一次データが得られない場合の輸送シナリオを次に示す。

B1. 輸送距離

- ・ 市内もしくは近隣市間に閉じることが確実な輸送の場合：50 km
- ・ 県内に閉じることが確実な輸送の場合：100 km
- ・ 県間輸送の可能性のある輸送の場合：500 km
- ・ 特定地域に限定されない場合（国内）：1,000 km
- ・ 海外における陸送距離：500 km
- ・ 港→港：国内港間の航行距離：1,000km

B2. 輸送手段および積載率

ライフサイクル段階	設定シナリオ		
製造段階	原材料調達輸送	輸送が陸運のみの場合	<輸送手段> 10 トントラック <積載率> default
		輸送に海運が伴う場合 (輸入先国内輸送、生産サイト→港)	<輸送手段> 10 トントラック <積載率> default
		輸送に海運が伴う場合 (国際間輸送、港→港)	<輸送手段> コンテナ船 (<4,000 TEU)
		輸送に海運が伴う場合 (国内輸送、港→納入先)	<輸送手段> 10 トントラック <積載率> default
	サイト間輸送	サイト間輸送	<輸送手段> 2 トントラック <積載率> default
	副資材調達輸送	副資材調達輸送	原材料調達段階と同じ
	廃棄物輸送	廃棄物輸送 (生産サイト→処理施設)	<輸送手段> 2 トントラック <積載率> default
建設段階	施工現場への 製品輸送	生産地が海外の場合 (生産サイト→生産国の港)	<輸送手段> 10 トントラック <積載率> default
		生産地が海外の場合 (生産国の港→国内の港)	<輸送手段> コンテナ船 (<4,000 TEU)
		生産地が海外の場合 (国内の港→店舗等)	<輸送手段> 10 トントラック <積載率> default
		生産地が国内の場合 (生産サイト→店舗等)	<輸送手段> 10 トントラック <積載率> default
	廃棄物輸送	廃棄物輸送 (店舗等→処理施設)	<輸送手段> 2 トントラック <積載率> default
廃棄・リサイクル段階		廃棄物輸送 (ごみ集積所→処理施設)	<輸送手段> 2 トントラック <積載率> default

附属書C エコリーフ宣言における LCI 関連情報の表示方法（規定）

C1. 再生可能エネルギー

以下の再生可能エネルギーの項目を合算して表示する。

IDEA コード	エネルギーキャリアの種類	単位
001211	資源, 一次エネルギー(地熱), 陸域, 再生可能エネルギー	MJ
001421	資源, 一次エネルギー(太陽光), 大気, 再生可能エネルギー	MJ
001422	資源, 一次エネルギー(風力), 大気, 再生可能エネルギー	MJ
001521	資源, 一次エネルギー(水力), 水圏, 再生可能エネルギー	MJ

C2. 非再生可能エネルギー

以下の非再生可能エネルギーの項目を MJ に換算した熱量の合算値を表示する。

IDEA コード	エネルギーキャリアの種類	単位	MJ への換算係数
001172001	資源, ウラン, U3O8, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	455,000
001201001	資源, 原料炭, 29.0MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	29
001202	資源, 一般炭, 25.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	25.7
001203001	資源, 褐炭, 17.2MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	17.2
001205001	資源, 原油, 44.7MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	44.7
001206001	資源, 天然ガス, 54.6MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	54.6
001207002	資源, 天然ガス液, 46.5MJ/kg, 陸域, 非再生可能エネルギー	kg	46.5

C3. 再生可能な資源

以下の再生可能な資源・元素の項目を合算して表示する。

IDEA コード	エネルギーキャリアの種類	単位
001302003	資源, 木材, 日本(人工林, 再造林なし), 陸域, 再生可能材料	kg
001302004	資源, 木材, 日本(人工林, 再造林あり), 陸域, 再生可能材料	kg
001304	資源, フィールドラテックス, 陸域, 再生可能材料	kg
001401	資源, 空気, 大気, 再生可能材料	kg
001412	資源, CO2 (発生源不特定), 大気, 再生可能材料	kg
001413	資源, ヘリウム, 大気, 再生可能元素	kg

C4.非再生可能な資源

以下の非再生可能な資源・元素の項目を合算して表示する。

IDEA コード	製品名	単位	IDEA コード	製品名	単位
001102	資源、銀、陸域、非再生可能元素	kg	001178	資源、ジルコニウム、陸域、非再生可能元素	kg
001103	資源、アルミニウム、陸域、非再生可能元素	kg	001225	資源、カオリン、陸域、非再生材料	kg
001105	資源、金、陸域、非再生可能元素	kg	001228	資源、岩塩(資源)、陸域、非再生材料	kg
001106	資源、ホウ素、陸域、非再生可能元素	kg	001229	資源、岩石(石灰岩除く)、陸域、非再生材料	kg
001107	資源、バリウム、陸域、非再生可能元素	kg	001230	資源、ケイ砂、陸域、非再生材料	kg
001109	資源、ビスマス、陸域、非再生可能元素	kg	001231	資源、珪藻岩、陸域、非再生材料	kg
001115	資源、コバルト、陸域、非再生可能元素	kg	001233	資源、黒鉛鉱、陸域、非再生材料	kg
001116	資源、クロム、陸域、非再生可能元素	kg	001237	資源、石灰石、陸域、非再生材料	kg
001118	資源、銅、陸域、非再生可能元素	kg	001239	資源、タルク、陸域、非再生材料	kg
001123	資源、鉄、陸域、非再生可能元素	kg	001240	資源、長石、陸域、非再生材料	kg
001124	資源、ガリウム、陸域、非再生可能元素	kg	001242	資源、鉄鉱石、陸域、非再生材料	kg
001134	資源、ランタン、陸域、非再生可能元素	kg	001244	資源、ドロマイト、陸域、非再生材料	kg
001135	資源、リチウム、陸域、非再生可能元素	kg	001245	資源、粘土、陸域、非再生材料	kg
001138	資源、マンガン、陸域、非再生可能元素	kg	001249	資源、ベントナイト、陸域、非再生材料	kg
001139	資源、モリブデン、陸域、非再生可能元素	kg	001250	資源、borax、陸域、非再生材料	kg
001141	資源、ニオブ、陸域、非再生可能元素	kg	001252	資源、螢石、陸域、非再生材料	kg
001142	資源、ネオジム、陸域、非再生可能元素	kg	001255	資源、炭酸ナトリウム、陸域、非再生材料	kg
001143	資源、ニッケル、陸域、非再生可能元素	kg	001256	資源、珪石、陸域、非再生材料	kg
001147	資源、鉛、陸域、非再生可能元素	kg	001257	資源、大理石、陸域、非再生可能元素	kg
001150	資源、プラセオジウム、陸域、非再生可能元素	kg	001258	資源、山砂、陸域、非再生材料	kg
001151	資源、白金、陸域、非再生可能元素	kg	001259	資源、砂(海川)、陸域、非再生材料	kg
001157	資源、硫黄、陸域、非再生可能元素	kg	001265	資源、リン鉱石、陸域、非再生材料	kg
001158	資源、アンチモン、陸域、非再生可能元素	kg	001266	資源、蛇紋岩、陸域、非再生材料	kg
001160	資源、セレン、陸域、非再生可能元素	kg	001267	資源、かんらん岩、陸域、非再生可能元素	kg
001162	資源、サマリウム、陸域、非再生可能元素	kg	001279	資源、ろう石、陸域、非再生可能元素	kg
001165	資源、タンタル、陸域、非再生可能元素	kg	001280	資源、氷晶石、陸域、非再生材料	kg
001167	資源、テルル、陸域、非再生可能元素	kg	001281	資源、酸性白土、陸域、非再生材料	kg
001169	資源、チタン、陸域、非再生可能元素	kg	001282	資源、金剛石(ダイヤモンド)、陸域、非再生材料	kg
001173	資源、バナジウム、陸域、非再生可能元素	kg	001290	資源、その他の地中からの鉱物資源、陸域、非再生材料	kg
001174	資源、タングステン、陸域、非再生可能元素	kg	001291	資源、原石(特定せず)、陸域、非再生材料	kg
001177	資源、亜鉛、陸域、非再生可能元素	kg			

C.5 淡水の消費

以下の水資源消費の項目を合算して表示する。

IDEA コード	項目名	単位
001511400	資源、表層水、水圏、消費	kg
001515400	資源、地下水、水圏、消費	kg

附属書D シリーズ製品における環境負荷の推計方法(規定)

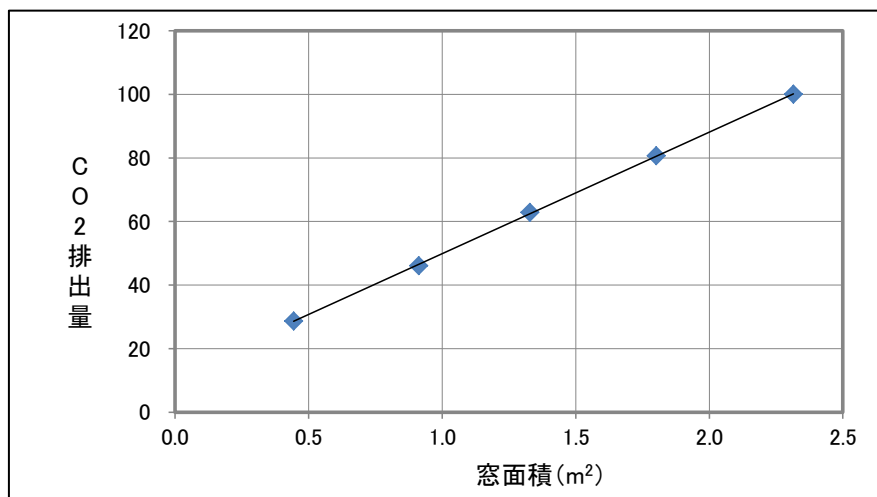
下記にシリーズ製品の環境負荷値の推計方法を示す。

環境負荷と窓面積には相関があり、以下の式で表現する。

$$\text{環境負荷} = A \times W \times H + B$$

- A、B : シリーズごとに設定される定数
- W : 製品幅
- H : 製品高さ

(例 : CO₂排出量の場合)



附属書E 断熱性の高い窓の使用による空調エネルギーの削減貢献

- ・日本LCA学会「温室効果ガス排出削減貢献量算定ガイドライン」(2015年2月)に沿った算定とする。
- ・算定手順は一般社団法人日本サッシ協会「窓の省エネ効果算定ガイドライン」(2015年2月)を用いる。
- ・用いた算定条件をエコリーフ宣言に記載する。

【算定条件】

熱負荷計算プログラム「Sim/Heat」(株建築環境ソリューションズ)を用いて算出した年間暖冷房負荷を、「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説II住宅」(一般財団法人建築環境・省エネルギー機構)に基づきエネルギー消費量を算出し、環境負荷に換算する。

住宅モデル	「平成25年省エネルギー基準に準拠した算定・判断の方法及び解説II住宅」の標準住戸プラン。(開口率:寒冷地21.0%、温暖地26.8%)
気象情報	拡張アメダス気象データ2000年版(標準年)
算定地域	東京。必要に応じて他の地域を追加記載してもよい。
暖冷房条件	地域ごとに想定した暖冷房モード、想定生活者4人 設定温度:暖房20℃、冷房27℃
比較対象商品仕様 (ベースライン)	ベースラインをアルミ窓(複層ガラス・平均値)とする。 ただし、理由を明示すれば変更可能とする。 計算に用いた熱貫流率を記載する。
評価対象商品仕様	計算に用いた熱貫流率を記載する。
原単位	IDEA原単位
使用年数	30年間
単位	上記で算定した1棟あたりの環境負荷を1窓あたりに換算する(開口部面積で配分)。